

# 「1回だけ」のつもりが定期購入に…

生活情報  
さど

お問い合わせ 消費生活センター  
(平日) 午前9時～午後4時 ☎57-8143

消費者ホットライン ☎188 (嫌や!泣き寝入り)

「通常価格〇〇円のところ初回50%オフの△△円」「初回実質0円」などという広告を見て、お試しのつもりで商品を購入したところ、実際には定期購入が条件であった、というトラブルが増加しています。

## 【事例①】

5000円の美容クリームを注文した。一度限りだと思っただが、2回目が届いた。解約したいが電話がつかまらない。

## 【事例②】

サプリメントを初回お試し価格で購入した。体に合わず解約を申し出たが、「4回の購入が条件」と断られた。

## 【アドバイス】

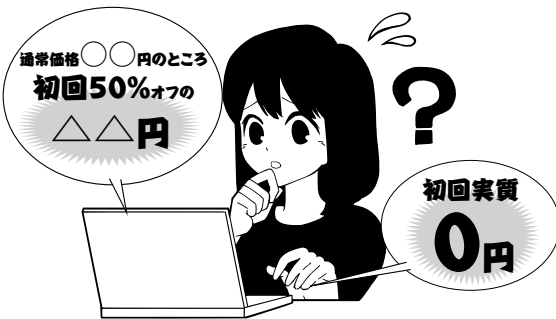
ネット上の広告やホームページでは、1回目の商品を低価格で購入できることが強調されています。

しかし、定期購入であることや、その期間内は解約できないことは、ほかの情報より小さい文字で画面の最後や別のページに表示される場合があります。

2回目以降は通常価格に近い価格のため、支払総額は数万円になる場合があります。

通信販売はクーリング・オフ制度がありません。商品注文する前に定期購入が条件になっていないかなど、契約内容や解約条件についてよく確認しましょう。

不安な場合は、消費生活センターへ相談してください。



## 首都圏情報コーナー

### 首都圏佐渡連合会20周年記念総会・懇親会開催

2月9日、東京都千代田区のホテルで、首都圏佐渡連合会の設立20周年記念総会・懇親会が開催され、約170人もの方々にご参加いただきました。

20周年の節目を祝して、連合会の意義、歴史を振り返るお言葉を多くのご来賓の方々から頂戴しました。中でも佐渡市の初代市長の高野宏一郎さんは「佐渡市の誕生と歩み」と題した記念講演で、2004年佐渡市誕生の前後の当会初代会長の池田正雄さんとの思い出話から、市町村合併に至るまでの苦労話、佐渡市東京事務所開設や、佐渡戦略会議の開催など、当会が佐渡市と一体となつてふるさとの発展に尽くしてきた歴史をご紹介いただきました。

また、総会では、5回目の挑戦となる世界遺産登録推進活動の現状報告が行われました。そして圧巻したのはフェリス女学院大学音楽学部の蔵田雅之先生と生徒3人による声楽の特別演奏会でした。独唱、合唱、ピアノソロで日本の唄やオペラ曲を6曲演奏、優雅で清らかな熱唱に会場は酔いしれました。そして「湊木遣り」、連吟「鶴亀」、佐渡民謡と輪踊りなどふるさとの芸能が4時間余りの記念総会・懇親会を盛り上げました。

(文責・佐渡市東京事務所 小路 徹)



講演する初代市長の高野さん

## 編集後記

感染症予防のためにどうすればよいか、家族で確認しています。

手洗いやうがい、咳エチケットに気を付ける、具合が悪いときは無理せず休む、気になることは相談したりするなど、感染症予防に努めていきたいと思っています。(T.S)

